

皆

様の輝かしい迎春を心よりお慶び申し上げます。
さて、昨年は二期目の町政を担わせて頂くにあたり、町の実態や課題を再認識したと共に、皆様を抱く故郷への愛や情熱、期待の声を受け止めることができませんでした。また、2か月分の雨が集中した7月豪雨の教訓から、改めて天災の脅威と防災力の重要性を痛感した次第です。それらを踏まえ、地域の課題の解決には地域力こそ不可欠であると考え、地域と行政との連携による「地域再生」を二期目のテーマに掲げ、町政を推進しているところであります。

これまで、雇用定住促進、地域ブランド化、小さな拠点づくりを柱に、仕事相談窓口の設置や大型店舗の誘致、ふるさと納税強化や福智スイーツ大茶会の開催をはじめ、様々な事業を展開して参りました。なかでも3月で開設後2年を迎える図書館歴史資料館「ふくちのち」は、27万人以上の来館者を誇り、町の新たな拠点として定着しつつあります。また、JALをはじめとする産学との協定や観光列車の運行等、民間力との連携を活用強化した地域活性化への基盤も整って参りました。

一方で、国の財政措置失効や制度改正で直面する2021年度以降の財政難を見据え、町の「稼ぐ力」を高め、町有地の積極的な売却や公共施設とサービスの民営化、水道やごみ・塵芥処理の広域化等、行財政改革を進めながら、農業改革や地域包括ケアシステムの構築等、将来への布石となる施策に取り組みたいと考えています。特に、町の未来そのものである子どもたちのため、義務教育学校をはじめとする教育改革と基盤整備に力を注いで参ります。この年頭にあたり、この町で生きるみなさんの幸福追求に向け、町民の皆様と手を携え、私の責任と覚悟を示しながら、全力で取り組む決意であります。

最後に本年が、町民の皆様お一人おひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

新

年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、平成30年7月豪雨により、九州地方から中部・近畿地方・北海道と広く河川の氾濫や土砂崩れによる甚大な被害が発生し、さらに9月に発生した北海道胆振東部地震の強震動による被害は、厚真町を中心に広範囲に及ぶなど、地域の住民生活や経済活動は重大な影響を受けました。度重なる自然災害の脅威を目の当たりにし、私たちも備えることの重要性を再認識したところであります。

本年は、4月30日に約200年ぶりの天皇陛下譲位、5月1日に改元、10月1日に消費税引き上げとめぐるしい年を迎えていきます。我が国においては、急速な少子高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、町村の基幹産業である農林水産業の低迷や若年人口の減少により、地域経済は衰退の入口に立っております。現在、本町では創意工夫を活かした施策を盛り込んだ総合戦略等に基づき、官民一体の本格的な事業展開に取り組んでいるところであり、地方創生をさらに深化させるためには、その流れをさらに加速させなければなりません。

我々議会といたしましても、地域の課題を解決するための施策を町と議会が対等な立場でしっかりと議論することが、福智町の地方創生へつながっていくものと信じております。

今後多難な町政、厳しい財政状況は依然として続いていくものと考えられますが、福智町の明るい未来のため、誠心誠意努力を積み重ねて参りますので、町民の皆様のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に福智町にとりまして、新しい年が活力にあふれ、町民の皆様が笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう、心より祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



福智町長
嶋野 勝



福智町議会議長
矢野 博文

New Year's greetings 2019

年頭のごあいさつ